

報告者* 自民党富山県議会議員会政調会
文教公安部会

整理番号	1325		使途項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	令和7年11月17日	から	活動の概要	文教公安部会 海外視察研修 (ニュージーランド)	
	令和7年11月22日	まで			
活動場所	ニュージーランドクライストチャーチ 国際南極センター カンタベリー地震追悼国立メモリアル トランジショナル大聖堂 AeataCommunityアートセンター CashmereSchool AoTawhitiUnlimited カンタベリー日本語補修学校 IlamSchool		<h2>政務活動費経費</h2>		(参加者) 瀬川侑希 瀧田孝吉 井上 学 針山健史 尾山謙二郎(11/21帰国) 横田誠二
			金額	金額	
①航空券 (全体 286,050円のうち部分的負担)			1,236,300	⑧海外取扱手数料 93,000	
②宿泊費				⑨博物館入館料 47,460	
③夕食				⑩電車代 22,108	
④専用車・ガイド			680,000	⑪お土産代 21,890	
⑤学校訪問費			88,000	⑫名刺代	
⑥JR券代			283,200	⑬昼食代	
⑦通信機器			17,820	計 2,489,778	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					
海外視察研修 (ニュージーランド) 経費 4,246,678円 (6名分)					
<内訳> 文教公安部会費 2,489,778円 ✓ 個人政務活動費 1,329,680円 個人負担 427,220円					
※部会費の予算 (2,490,000円) を超えた額を個人政務活動費で充当する。 (詳細別紙「部会と個人」)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 令和 年 月 日
決裁 令和 年 月 日
処理 令和8年1月28日

報告者* 自民党富山県議会議員会政調会
文教公安部会

整理番号	—		使途項目*	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	令和7年11月17日	から	活動の概要*	文教公安部会 海外視察研修 (ニュージーランド)	
	令和7年11月22日	まで			
場所	ニュージーランドクライストチャーチ			全体経費	
	国際南極センター カンタベリー地震追悼国立メモリアル トランジショナル大聖堂 AeataCommunityアートセンター CashmereSchool AoTawhitiUnlimited カンタベリー日本語補修学校 IiamSchool				
			(参加者) 瀬川侑希 瀧田孝吉 井上 学 針山健史 尾山謙二郎(11/21帰国) 横田誠二		

	金額*		金額*
①航空券	1,716,300	⑧海外取扱手数料	93,000
②宿泊費	621,000	⑨博物館入館料	47,460
③夕食	253,000	⑩電車代	22,108
④専用車・ガイド	1,022,000	⑪お土産代	21,890
⑤学校訪問費	88,000	⑫名刺代	8,580
⑥JR券代	283,200	⑬昼食代	34,500
⑦通信機器	35,640	計	4,246,678

海外視察研修 (ニュージーランド) 経費 4,246,678円 (6名分)
 <内訳> 文教公安部会費 2,489,778円
 個人政務活動費 1,329,680円
 個人負担 427,220円 ⑭

※部会費の予算 (2,490,000円) を超えた額を個人政務活動費で充当する。(別紙「部会費と個人政務活動費」)

①~⑧ + ⑭

領 収 証

No. 32436

自民党富山県議会議員会
政務調査会 文教公安部会

殿

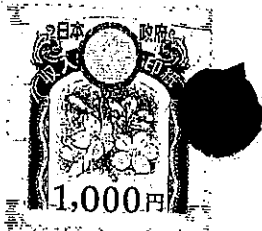
2026年 / 月 28 日

¥ 4,112,140-

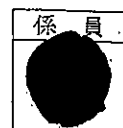
(税込)

但し文教公安部会 海外(ニュージーランド)視察旅費

上記の金額正に領収致しました



- 本 社 富山県奥田新田(ボルフアートとやま)
TEL (076) 441-2000 FAX (076) 431-2735
- ファボーレ店 南砺支店 アルプラザ小杉店
- 名古屋支店 金沢営業所



決裁 令和 年 月 日
 処理 令和8年1月28日

管理番号	1326		使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	令和7年11月17日	から	活動の概要 (内容)	文教公安部会 海外視察研修 (ニュージーランド)	
	令和7年11月22日	まで			
場所	ニュージーランドクライストチャーチ		別紙	(参加者) 瀬川侑希 瀧田孝吉 井上 学 針山健史 尾山謙二郎(11/21帰国) 横田誠二	
	国際南極センター カンタベリー地震追悼国立メモリアル トランジショナル大聖堂 AeataCommunityアートセンター CashmereSchool AoTawhitiUnlimited カンタベリー日本語補習学校 IlanSchoolI				
			金額	金額	
①航空券 (全体 286,050円のうち一部負担)			80,000	⑧海外取扱手数料	
②宿泊費 (4泊4朝食)			72,800	⑨博物館入館料	
③夕食 (4回)			8,000	⑩電車代	
④専用車・ガイド			68,400	⑪お土産代	
⑤学校訪問費				⑫名刺代(40%)	2,860
⑥JR券代				⑬昼食代(4回)	6,000
⑦通信機器				計	238,060
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					
海外視察研修 (ニュージーランド) 経費			4,246,678円 (6名分)		
<内訳>					
文教公安部会費			2,489,778円		
個人政務活動費			1,329,680円 ✓ (瀬川分 283,060円)		
個人負担			427,220円		
※部会費の予算 (2,490,000円) を超えた額を個人政務活動費で充当する。 (詳細別紙「部会と個人」)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 令和 年 月 日
 決裁 令和 年 月 日
 処理 令和8年1月28日

報告者* 自民党富山県議会議員会政調会
瀧田孝吉

整理番号 <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">1327</div>		使途項目 01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間 令和7年11月17日 から 令和7年11月22日 まで	活動の概要 文教公安部会 海外視察研修（ニュージーランド）		(参加者) 瀧川侑希 瀧田孝吉 井上 学 針山健史 尾山謙二郎(11/21帰国) 横田誠二
	(内容) 別紙 ニュージーランドクライストチャーチ 国際南極センター カンタベリー地震追悼国立メモリアル トランジショナル大聖堂 AeataCommunityアートセンター CashmereSchool AoTawhitiUnlimited カンタベリー日本語補修学校 IlamSchool		
		金額	金額
①航空券 (全体 286,050円のうち一部負担)	80,000	⑧海外取扱手数料	
②宿泊費 (4泊4朝食)	72,800	⑨博物館入館料	
③夕食 (4回)	8,000	⑩電車代	
④専用車・ガイド	68,400	⑪お土産代	
⑤学校訪問費		⑫名刺代 (40%)	2,860
⑥JR券代		⑬昼食代 (4回)	6,000
⑦通信機器		計	238,060
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			
海外視察研修（ニュージーランド）経費		4,246,678円（6名分）	
<内訳>		文教公安部会費 2,489,778円 個人政務活動費 1,329,680円 ✓（瀧田分 283,060円） 個人負担 427,220円	
※部会費の予算（2,490,000円）を超えた額を個人政務活動費で充当する。 （詳細別紙「部会と個人」）			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 令和 年 月 日
 決裁 令和 年 月 日
 処理 令和8年1月28日

報告者* 自民党富山県議会議員会政調会
井上 学

管理番号	1328		使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	令和7年11月17日	から	活動の概要 (内容) 別紙	文教公安部会 海外視察研修 (ニュージーランド)	
	令和7年11月22日	まで			
場所	ニュージーランドクライストチャーチ		(参加者)	瀨川侑希 瀧田孝吉 井上 学 針山健史 尾山謙二郎(11/21帰国) 横田誠二	
	国際南極センター カンタベリー地震追悼国立メモリアル トランジショナル大聖堂 AeataCommunityアートセンター CashmereSchool AoTawhitiUnlimited カンタベリー日本語補修学校 IlanSchool I				
			金額	金額	
①航空券 (全体 286,050円のうち一部負担)	80,000	③海外取扱手数料			
②宿泊費 (4泊4朝食)	72,800	⑨博物館入館料			
③夕食 (4回)	8,000	⑩電車代			
④専用車・ガイド	68,400	⑪お土産代			
⑤学校訪問費		⑫名刺代 (40%)			
⑥J R 券代		⑬昼食代 (4回)		6,000	
⑦通信機器		計		235,200	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					
海外視察研修 (ニュージーランド) 経費		4,246,678円 (6名分)			
<内訳>		文教公安部会費	2,489,778円		
		個人政務活動費	1,329,680円	✓ (井上分 235,200円)	
		個人負担	427,220円		
※部会費の予算 (2,490,000円) を超えた額を個人政務活動費で充当する。 (詳細別紙「部会と個人」)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 令和 年 月 日
 決裁 令和 年 月 日
 処理 令和8年1月28日

報告者* 自民党富山県議会議員会政調会
針山健史

整理番号	1329		使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	令和7年11月17日	から	活動の概要 (内容) 別紙	文教公安部会 海外視察研修 (ニュージーランド)	
	令和7年11月22日	まで			
場所	ニュージーランドクライストチャーチ 国際南極センター カンタベリー地震追悼国立メモリアル トランジショナル大聖堂 AeataCommunityアートセンター CashmereSchool AoTawhitiUnlimited カンタベリー日本語補修学校 IamSchoolI		(参加者)	瀬川侑希 瀧田孝吉 井上 学 針山健史 尾山謙二郎(11/21帰国) 横田誠二	
			金額	金額	
①航空券 (全体 286,050円のうち一部負担)			80,000	⑧海外取扱手数料	
②宿泊費 (4泊4朝食)			72,800	⑨博物館入館料	
③夕食 (4回)			8,000	⑩電車代	
④専用車・ガイド			68,400	⑪お土産代	
⑤学校訪問費				⑫名刺代 (40%)	
⑥JR券代				⑬昼食代 (4回)	6,000
⑦通信機器				計	235,200
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					
海外視察研修 (ニュージーランド) 経費			4,246,678円 (6名分)		
<内訳>					
文教公安部会費			2,489,778円		
個人政務活動費			1,329,680円 ✓ (針山分 235,200円)		
個人負担			427,220円		
※部会費の予算 (2,490,000円) を超えた額を個人政務活動費で充当する。 (詳細別紙「部会と個人」)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 令和 年 月 日
 決裁 令和 年 月 日
 処理 令和8年1月28日

報告者* 自民党富山県議会議員会政調会
尾山謙二郎

申請番号 <p style="font-size: 2em; text-align: center;">1330</p>	使途項目 01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費		
活動期間 令和7年11月17日 から 令和7年11月22日 まで	活動の概要 文教公安部会 海外視察研修 (ニュージーランド)		
活動場所 ニュージーランドクライストチャーチ 国際南極センター カンタベリー地震追悼国立メモリアル トランジショナル大聖堂 AeataCommunityアートセンター CashmereSchool AoTawhitiUnlimited カンタベリー日本語補修学校 IiamSchool1	(内容) 別紙 (参加者) 瀬川侑希 瀧田孝吉 井上 学 針山健史 尾山謙二郎(11/21帰国) 横田誠二		
金額*			
①航空券 (全体 286,050円のうち一部負担)	80,000	⑧海外取扱手数料	
②宿泊費 (3泊3朝食)	54,600	⑨博物館入館料	
③夕食 (3回)	6,000	⑩電車代	
④専用車・ガイド		⑪お土産代	
⑤学校訪問費		⑫名刺代 (40%)	
⑥JR券代		⑬昼食代 (3回)	4,500
⑦通信機器		計	145,100
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			
海外視察研修 (ニュージーランド) 経費 4,246,678円 (6名分)			
<内訳>			
	文教公安部会費	2,489,778円	
	個人政務活動費	1,329,680円	✓ (尾山分 145,100円)
	個人負担	427,220円	
※部会費の予算 (2,490,000円) を超えた額を個人政務活動費で充当する。 (詳細別紙「部会と個人」)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 令和 年 月 日
 決裁 令和 年 月 日
 処理 令和8年1月28日

報告者* 自民党富山県議会議員会政調会
横田誠二

整理番号	1331		使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	令和7年11月17日	から	活動の概要 (内容) 別紙	文教公安部会 海外視察研修 (ニュージーランド)	
	令和7年11月22日	まで			
場所	ニュージーランドクライストチャーチ		(参加者)	瀬川侑希 瀧田孝吉 井上 学 針山健史 尾山謙二郎(11/21帰国) 横田誠二	
	国際南極センター カンタベリー地震追悼国立メモリアル トランジショナル大聖堂 AeataCommunityアートセンター CashmereSchool AoTawhitiUnlimited カンタベリー日本語補習学校 IlamSchool1				
			金額*	金額*	
①航空券 (全体 286,050円のうち一部負担)	80,000		⑧海外取扱手数料		
②宿泊費 (4泊4朝食)	72,800		⑨博物館入館料		
③夕食 (4回)	8,000		⑩電車代		
④専用車・ガイド	68,400		⑪お土産代		
⑤学校訪問費			⑫名刺代 (40%)	2,860	
⑥JR券代			⑬昼食代 (4回)	6,000	
⑦通信機器			計	238,060	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					
海外視察研修 (ニュージーランド) 経費			4,246,678円 (6名分)		
<内訳>					
文教公安部会費			2,489,778円		
個人政務活動費			1,329,680円 ✓ (横田分 283,060円)		
個人負担			427,220円		
※部会費の予算 (2,490,000円) を超えた額を個人政務活動費で充当する。 (詳細別紙「部会と個人」)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 令和 年 月 日
 決裁 令和 年 月 日
 処理 令和8年1月28日

文教公安部会 政務活動費と個人負担

01 調査研究費		全体	政務活動費	個人負担
①	航空券	1,716,300	1,716,300	
②	宿泊費	621,000	418,600	202,400
③	夕食	253,000	46,000	207,000
④	専用車・ガイド	1,022,000	1,022,000	
⑤	学校訪問費	88,000	88,000	
⑥	J R 券	283,200	283,200	
⑦	通信機器	35,640	17,820	17,820
⑧	海外取扱手数料	93,000	93,000	
		4,112,140	(A) 3,684,920	427,220

⑨	博物館入館料	47,460	47,460	
⑩	現地電車代	22,108	22,108	
⑪	お土産代	21,890	21,890	
⑫	名刺代	8,580	8,580	
⑬	昼食代	34,500	34,500	
		134,538	(B) 134,538	0

合計 (①~⑬)	4,246,678	(C) 3,819,458	427,220
----------	-----------	---------------	---------

< 政務活動費分 個人別内訳 >

01 調査研究費		瀬川	瀧田	井上	針山	尾山	横田
①	航空券	286,050	286,050	286,050	286,050	286,050	286,050
②	宿泊料	72,800	72,800	72,800	72,800	54,600	72,800
③	食事代	8,000	8,000	8,000	8,000	6,000	8,000
④	専用車・ガイド (11/18~11/20)	113,335	113,333	113,333	113,333	113,333	113,333
	専用車・ガイド (11/21~11/22)	68,400	68,400	68,400	68,400		68,400
⑤	11/20 学校訪問費	7,335	7,333	7,333	7,333	7,333	7,333
	11/21 学校訪問費	7,335	7,333	7,333	7,333	7,333	7,333
⑥	J R 券	47,780	47,780	46,040	47,780	46,040	47,780
⑦	通信機器	2,970	2,970	2,970	2,970	2,970	2,970
⑧	海外取扱手数料	15,500	15,500	15,500	15,500	15,500	15,500
⑨	博物館入館料	7,910	7,910	7,910	7,910	7,910	7,910
⑩	現地電車	3,688	3,684	3,684	3,684	3,684	3,684
⑪	お土産代	3,650	3,648	3,648	3,648	3,648	3,648
⑫	名刺代	2,860	2,860				2,860
⑬	昼食代	6,000	6,000	6,000	6,000	4,500	6,000
個人ごとの合計		653,613	653,601	649,001	650,741	558,901	653,601
合計		3,819,458					

部会費と個人政務活動費

01 調査研究費		政務活動費対象	部会費	個人政務活動費
①	航空券	1,716,300	1,236,300	1人8万負担 480,000
②	宿泊費	418,600		418,600
③	夕食	46,000		46,000
④	専用車・ガイド 11/18~11/20	680,000	680,000	
	専用車・ガイド 11/21~11/22	342,000		342,000
⑤	学校訪問費 11/20	44,000	44,000	
	学校訪問費 11/21	44,000	44,000	
⑥	J R 券	283,200	283,200	
⑦	通信機器	17,820	17,820	
⑧	海外取扱手数料	93,000	93,000	
		3,684,920	2,398,320	1,286,600

⑨	博物館入館料	47,460	47,460	
⑩	現地電車代	22,108	22,108	
⑪	お土産代	21,890	21,890	
⑫	名刺代	8,580		8,580
⑬	昼食代	34,500		34,500
		134,538	91,458	43,080

合計 (①~⑬)		③ 3,819,458 /	2,489,778	1,329,680
----------	--	---------------	-----------	-----------

<個人政務活動費 内訳>

01 調査研究費		瀬川	瀧田	井上	針山	尾山	横田
①	航空券	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
②	宿泊料	72,800	72,800	72,800	72,800	54,600	72,800
③	食事代	8,000	8,000	8,000	8,000	6,000	8,000
④	専用車・ガイド (11/21~11/22)	68,400	68,400	68,400	68,400	0	68,400
⑫	名刺代	2,860	2,860	0	0	0	2,860
⑬	昼食代	6,000	6,000	6,000	6,000	4,500	6,000
個人ごとの合計		238,060	238,060	235,200	235,200	145,100	238,060
合 計		1,329,680					

旅行会社請求分

項目	内容	単価	数	金額
航空券	国際線	271,000	6	1,626,000
	空港諸税	15,050	6	90,300
				1,716,300
宿泊費	ディステインクションホテル @27,000×4泊 5名	540,000	1	540,000
	ディステインクションホテル (尾山) @27,000×3泊 1名	81,000	1	81,000
				621,000
食事代	夕食	220,000	1	220,000
	@11,000×4回 5名	33,000	1	33,000
				253,000
専用車 & ガイド	11/18	188,000	1	188,000
	11/19	246,000	1	246,000
	11/20	246,000	1	246,000
	11/21	246,000	1	246,000
	11/22	96,000	1	96,000
				1,022,000
現地立替金	11/20 学校訪問費用 Cashmere高校	44,000	1	44,000
	11/21 学校訪問費用 Ilam School	44,000	1	44,000
				88,000
J R 券代	新高岡～成田空港往復新幹線・特急/グリーン	47,780	4	191,120
	富山～成田空港往復新幹線・特急/グリーン	46,040	2	92,080
				283,200
通信機器	Wi-Fi通信機器 @2,970円×6日×2台	17,820	2	35,640
取扱手数料	電子渡航承認登録費	11,100	6	66,600
	電子入国申告登録費	4,400	6	26,400
				93,000
※ 宿泊費の上限 17,200円				
※ 食事代：朝食1,000円 昼食1,500円 夕食：2,000円				
合計 (①～⑧)				4,112,140

政務活動費	個人負担 (6名)	個人負担
1,626,000		1人あたり 尾山
90,300		
1,716,300	0	
364,000	176,000	35,200
54,600	26,400	26,400
418,600	202,400	
40,000	180,000	36,000
6,000	27,000	27,000
46,000	207,000	
188,000		
246,000	680,000	
246,000		
246,000	34,200	
96,000		
1,022,000	0	
44,000		
44,000		
88,000		
191,120		
92,080		
283,200		
17,820	17,820	2,970 2,970
66,600		
26,400		
93,000		
3,684,920	427,220	74,170 56,370

(A)

930-8501
富山県富山市新総曲輪1-7

No. 00531852-01
DATE: 2026年01月19日
PAGE: 1

自由民主党富山県議会議員会
政務調査会 文教公安部会 御中

観光庁長官登録旅行業第818号
㈱ニュージャパントラベル
本社
登録番号: T5230001002397
〒930-0857 富山県富山市奥田新町8番1号
ポルファートとやま

TEL: 076-444-3413
FAX: 076-444-3471

TEL: 076-441-2000 FAX: 076-431-2735

請求書

① ~ ⑧

この度は弊社をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
つきましては、下記の通りご請求申し上げますのでよろしくお願い致します。

金額

<input type="checkbox"/> 出発日	2025年11月17日 (月)	(A00001)	
<input type="checkbox"/> ツアー名	富山県議会自民党 文教公安部会	海外視察	
<input type="checkbox"/> 明細			
海外航空券代			
成田/ホークランド/クライストチャーチ 往復	(¥271,000 X 6)		¥1,626,000
現地空港諸税	(¥15,050 X 6)		¥90,300
海外宿泊代			
テイディングトン ホテル @27,000×4泊 5名様	(¥108,000 X 5)		¥540,000
テイディングトン ホテル @27,000×3泊 1名様	(¥81,000 X 1)		¥81,000
その他手配			
夕食代 @11,000×4回 5名様	(¥44,000 X 5)		¥220,000
夕食代 @11,000×3回 1名様	(¥33,000 X 1)		¥33,000
専用車&ガイド費 11/18	(¥188,000 X 1)		¥188,000
専用車&ガイド費 11/19	(¥246,000 X 1)		¥246,000
専用車&ガイド費 11/20	(¥246,000 X 1)		¥246,000
専用車&ガイド費 11/21	(¥246,000 X 1)		¥246,000
専用車&ガイド費 11/22	(¥96,000 X 1)		¥96,000
現地立替金			
学校訪問費用 11/20 Cashmere高校	(¥44,000 X 1)		¥44,000
学校訪問費用 11/21 Ilam School	(¥44,000 X 1)		¥44,000
JR券代			
新高岡~成田空港往復新幹線・特急/グリーン	(¥47,780 X 4)		¥191,120
富山~成田空港 往復新幹線・特急/グリーン	(¥46,040 X 2)		¥92,080
通信費			
Wi-Fi通信機器 @2,970×6日間 2台	(¥17,820 X 2)		¥35,640
海外取扱手数料			
ニューズーラント 電子渡航承認登録費	(¥11,100 X 6)		¥66,600
ニューズーラント 電子入国申告登録費	(¥4,400 X 6)		¥26,400
	【金額合計】	【内消費税額合計】	
	¥4,112,140	¥34,200	
	消費税10%対象	¥376,200	(内消費税) ¥34,200

お支払いは弊社下記銀行口座へ
1月29日 までにお振込願います。

振込先: 北陸銀行 奥田支店 当座 4038850
口座名: カ) ニュージャパントラベル
㈱ニュージャパントラベル

ご請求額 *****

ご入金額 *****

今回ご請求額 *****

担当者 

930-8501
富山県富山市新総曲輪1-7

No. 00531852-01
DATE: 2026年01月19日
PAGE: 2

自由民主党富山県議会議員会
政務調査会 文教公安部会 御中

TEL: 076-444-3413
FAX: 076-444-3471

観光庁長官登録旅行業第818号

(株)ニュージャパ

本社

登録番号: T5230001002397

〒930-0857 富山県富山市奥田新町8番1号
ボルファートとやま

TEL: 076-441-2000 FAX: 076-431-2735

請求書

この度は弊社をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
つきましては、下記の通りご請求申し上げますのでよろしくお願い致します。

		金額
消費税対象外	¥3,735,940	

お支払いは弊社下記銀行口座へ

1月29日 までにお振込願います。

振込先: 北陸銀行 奥田支店 当座 4038850
口座名: カ) ニュージャパントラベル
(株)ニュージャパントラベル

ご請求額 ¥4,112,140

ご入金額 ¥0

今回ご請求額 ¥4,112,140

担当者 XXXXXXXXXX

【入館料：国際南極センター】

同行ガイド含む7名分

9

2025/11/18 INTERNATIONAL ANTARC利用国CHC 本人* 1回払い ￥47,460

現地利用額 ⑤518,000 変換レート 91.622円

本人様利用分 101036 コピー

12月支払い金額:	￥47,460	1月繰越残高:	￥0	支払い総額:	￥47,460
内) 手数料:	￥0	内) 手数料:	￥0	内) 手数料:	￥0

ご利用覚えのない請求について ☐
お問い合わせの多いご利用先一覧 ☐

===== RECEIPT =====
International Antarctic Centre
38 Orchard Road, Christchurch
Phone:+64 3 357 0519 www.iceberg.co.nz
reservations@iceberg.co.nz
18 Nov 2025 2:25PM Till:IACTicket2
Gst No:144-141-555 Trans:849129
===== TAX INVOICE =====

Purchases

General admission - Adult	1077	1	\$74.00
General admission - Adult	1077	1	\$74.00
General admission - Adult	1077	1	\$74.00
General admission - Adult	1077	1	\$74.00
General admission - Adult	1077	1	\$74.00
General admission - Adult	1077	1	\$74.00
General admission - Adult	1077	1	\$74.00

TOTAL \$518.00

All prices include GST

Payments

MasterCard TxnRef:8491295011718741000000 \$518.00

Thanks for visiting us!

You were served by Attapon T
Printed: 11/18/2025 2:25:22 PM



□/HD304R5UMT-3Q-MMD□

【電車代：11/20 市内視察】

10

2025/11/20 CHRISTCHURCH TRAMWAY利用国NZL 本人* 1回払い ¥22,108

① 現地利用額 240,000変換レート 92.117円

② 本人様利用分 ③ 101037 印コピー

12月支払い金額:	¥22,108	1月繰越残高:	¥0	支払い総額:	¥22,108
内) 手数料:	¥0	内) 手数料:	¥0	内) 手数料:	¥0

ご利用覚えのない請求について
お問い合わせの多いご利用先一覧

CHRISTCHURCH TRAMWAY
109 WORCESTER STREET
CHRISTCHURCH

-----EFTPOS-----
TERMINAL 23709510
TIME 20NOV25 09:23
TRAN 001637 CREDIT
MCARD
CARD [REDACTED]
CONTACTLESS
Mastercard
RID: A000000004
PIX: 1010
ARQC:
65A248FC3911CAC6
TVR: 0000048001
ATC: 002A
TSI: 0000
AUTH 152301
PURCHASE NZ\$240.00
TOTAL NZ\$240.00
ACCEPTED

MERCHANT COPY

【お土産】



領収証

自由民主党富山県議会議員会政調会

瀬川侑希

様 No. _____

¥6,930 - (7)

但

入金日 令和7年 11 月 16 日 上記正に領収いたしました

収入
印紙

内訳
税抜金額
消費税額等 (10%) 630

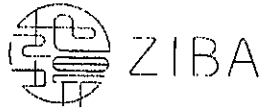
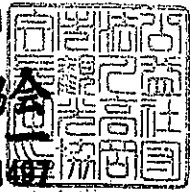
登録番号 T2230005005861

高岡市御旅屋町101番地

公益社団法人高岡市観光協会

会長 塩谷雄

TEL0766-20-1547 FAX20-1487



(公財)高岡地域地場産業センター
T6230005005841 TEL0766-25-8283
毎週水曜日休館日

2025年11月16日(日)No1

丸盆6寸貝入しろ	¥3,300
丸盆6寸貝入赤外カ	¥3,300
ぐい呑	¥4,400
絵はがき	
36個 X 単110	¥3,960
小計	¥14,960
10%内税対象	¥14,960
10%内税	¥1,360
一言言十	¥14,960 (1)
(うち消費税)	¥1,360

軽は軽減税率対象商品

1責 通常 4683 15時44分

ア 6,930

イ 14,960

21,890

【名刺代】

12

瀬川侑希 瀧田孝吉 横田誠二

	数量	単価	金額
名刺 (両面カラー) 1人100枚	3	7,150	21,450

政務活動費
8,580

議員負担
12,870
1人4,290円

40%対象

領 収 書

自由民主党富山県議会議員会
文教公安部会

令和7年11月26日

様

¥	21,450-
---	---------

現金		千	21	円	450
小切手					
手形					
相殺					

但し

上記金額正に領収致しました。

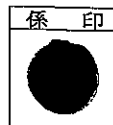
第一電報印刷株式会社

代表取締役

保

収印
入紙

〒939-8271 富山県富山市丸西町二丁目6番11
電話 (076) 421-0196 番
FAX (076) 423-9811 番
口座振替 北陸銀行本店 当座預金 1585200
富山信用金庫本店 当座預金 002310
富山第一銀行小泉支店 当座預金 008715



【昼食代】

13

	瀬川	瀧田	井上	針山	尾山	横田
11/18	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
11/19	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
11/20	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
11/21	1,500	1,500	1,500	1,500		1,500
小計	6,000	6,000	6,000	6,000	4,500	6,000
合計	34,500					

請 求 書

令和 5 年 10 月 30 日

自由民主党 富山県議会 議員 会 政 調 査 会
 久 野 公 寿 部 長

様

第一共済株式会社

代表取締役 保 行

〒939-8791 富山県富山市西町二丁目6番1号
 電話 076-241-0196 番
 FAX 076-241-9811 番
 口座振替 北陸銀行本店 当座 1585200 番
 富山信用金庫本店 当座 002310 番
 富山第一銀行小東支店 当座 008715 番




合計金額 ¥ 21,450-

平素は格別の御引立を賜り有難く厚く御礼申し上げます。納入品の代金は下記の通りです。何卒御支払下さいます様御願い申し上げます。

明 細

品 名 及 仕 様	数 量	単 価	金 額	摘 要
石 利 耐 御 用 紙	5 箱	円 3,500 -	円 17,500 -	
備考欄	小 計		17,500	
	消 費 税		1,950	
	合 計		21,450	

文教公安部会 (ニュージーランド)

富山県議会議員  富山県


瀬川 侑希


〒930-8501
富山県富山市新総曲輪1-7 富山県議会内
電話 076 (431) 5244 / FAX 076 (441) 8421

Toyama Prefectural
Assembly Member

Yuki Segawa

1-7 Shinsogawa, Toyama City,
Toyama, 930-8501, JAPAN
TEL: +81-76-431-5244
FAX: +81-76-441-8421



富山県議会議員  富山県


瀧田 孝吉


〒930-8501
富山県富山市新総曲輪1-7 富山県議会内
電話 076 (431) 5244 / FAX 076 (441) 8421

Toyama Prefectural
Assembly Member

Koukiti Takida

1-7 Shinsogawa, Toyama City,
Toyama, 930-8501, JAPAN
TEL: +81-76-431-5244
FAX: +81-76-441-8421



富山県議会議員  富山県

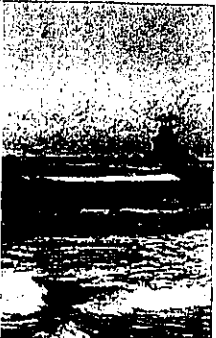
横田 誠二

〒930-8501
富山県富山市新総曲輪1-7 富山県議会内
電話 076 (431) 5244 / FAX 076 (441) 8421

Toyama Prefectural
Assembly Member

Seiji Yokota

1-7 Shinsogawa, Toyama City,
Toyama, 930-8501, JAPAN
TEL: +81-76-431-5244
FAX: +81-76-441-8421



県外・海外 政務活動報告書

会派名 自由民主党富山県議会議員会 文教公安部会

議員名 瀬川侑希 瀧田孝吉 井上学 針山健史 尾山謙二郎 横田誠二

整理番号	1325
活動名称	文教公安部会 海外視察
目的	今回、世界の教育先進地視察でニュージーランド教育の現場を選定し現地視察を行った。 何よりも子どもを中心に、自立と多様性を尊重しながら自然・社会とつながる学びを展開している ニュージーランドの教育文化を教育再編が課題となっている本県に活かすことを目的とする。
日程	令和 7 年 11月 17日(月)～ 令和 7 年 11月 22日(土)
場所 〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕	ニュージーランド クライストチャーチ 国際南極センター カンタベリー地震追悼国立メモリアル トランジショナル大聖堂 Haeata Community Campus アートセンター Cashmere High School Ao Tawhiti Unlimited Discoverey カンタベリー日本語補修学校 Ilam School
相手方等 〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕	
行程・活動内容	別紙参照

※日帰りの政務活動を含む。

(様式4)

令和7年11月14日現在

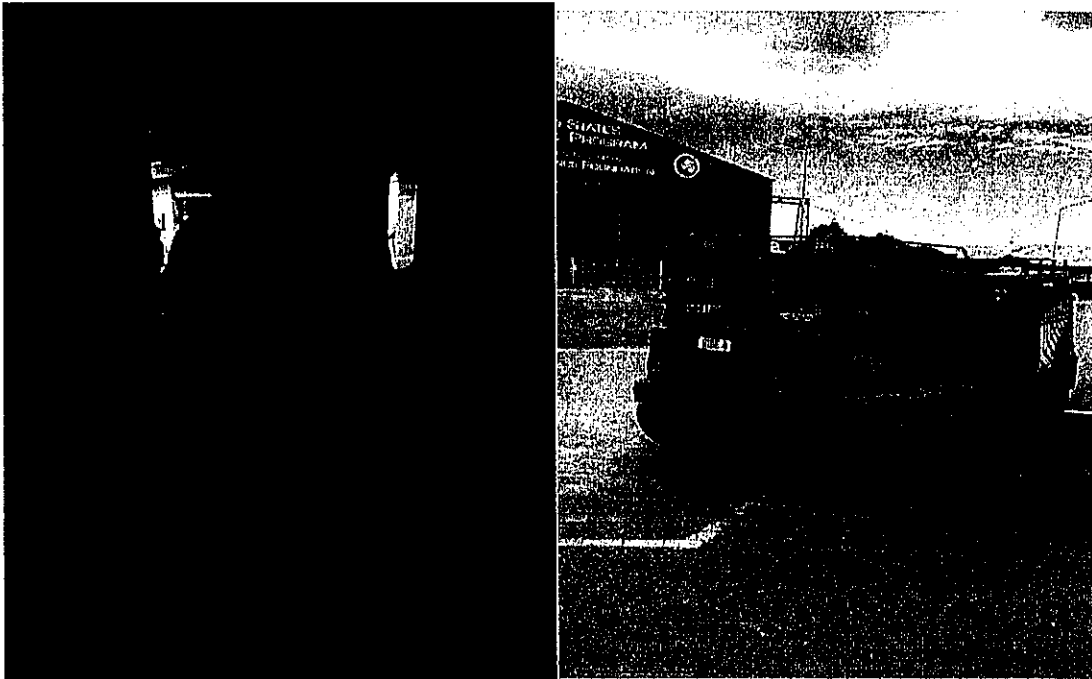
日 程

日付 曜日	午前 午後	渡航先国・地域 訪問地名	使用交通 機関	日程の概要 訪問予定先名称等	宿泊先
11/17 (月)	午後		はくたか 562 成田EX37 NZ航空90	J R新高岡発 J R東京駅発 成田空港発	
11/18 (火)	午前 午後	ニュージーランド クライストチャーチ市	NZ航空 535	オークランド空港着 クライストチャーチ空港着 ・市内視察 カンタベリー博物館 国際南極センター トラム ほか	Distinction Christchurch Hotel (ディスティンクション・ク ライストチャーチ) 住所：14 Cathedral Square, Christchurch Central 8011, New Zealand 電話番号：64-3-3777000
11/19 (水)	午前 午後	ニュージーランド クライストチャーチ市 ニュージーランド クライストチャーチ市	専用車	9:00～11:00 ・カンタベリー地震追悼国立 メモリアルでの献花 ・クライストチャーチ大聖堂 内(地震追悼彫刻) 12:20～15:00 ・Haeata Community Campus 生徒の自己表現を重視する教育 生徒に合わせた柔軟な教育制度 留学を受け入れている学校 キーコンセプトの実施校 ほか	Distinction Christchurch Hotel 住所：14 Cathedral Square, Christchurch Central 8011, New Zealand 電話番号：64-3-3777000
11/20 (木)	午前 午後	ニュージーランド クライストチャーチ市 ニュージーランド クライストチャーチ市	専用車	・市内視察 13:00～ ・CASHMEREHIGH SCHOOL 学校視察項目共通	Distinction Christchurch Hotel 住所：14 Cathedral Square, Christchurch Central 8011, New Zealand 電話番号：64-3-3777000
11/21 (金)	午前 午後	ニュージーランド クライストチャーチ市 ニュージーランド クライストチャーチ市	専用車	10:00～12:00 ・AO TAWHITIUNLIMITED DISCOVERY SCHOOL 学校視察項目共通 13:00～15:30 ・カンタベリー日本語補習学 校、ILAM SCHOOL 学校視察項目共通	Distinction Christchurch Hotel 住所：14 Cathedral Square, Christchurch Central 8011, New Zealand 電話番号：64-3-3777000
11/22 (土)	午前 午後		NZ航空 584 NZ航空99 成田EX44 かがやき 517 つるぎ61	クライストチャーチ空港発 オークランド空港発 成田空港発 J R東京駅発 J R富山駅着 J R新高岡着	

11月18日

午後 ・ International Antarctic Center (国際南極センター)

ニュージーランドの南方には南極が広がっており、特にクライストチャーチは南極と深い関わりを持つ。クライストチャーチから南極までの距離は3832kmで20世紀初頭に行われた、英国のスコット隊長やシャクルトンの南極探検の最後の宿泊地はクライストチャーチであった。現在も南極のマクマード基地へ向かうフライトは、すべてクライストチャーチから出発するなど南極調査の起点となっている。施設内の「南極嵐の部屋」では防寒着とブーツを借り、氷点下18度の世界を疑似体験。またハグランドと呼ばれる全地形対応型の水陸両用車両の体験走行では、急斜面や深い水たまりを走行した。ハグランドは県警山岳警備隊使用車両と同等車両であり冬季山岳走行の過酷さを体験した。南極に関する博物館のような存在であり、数少ない県立博物館の無い県である富山県であるが、地域内外から目的地として訪れられる博物館はぜひ整備すべきだと感じた。

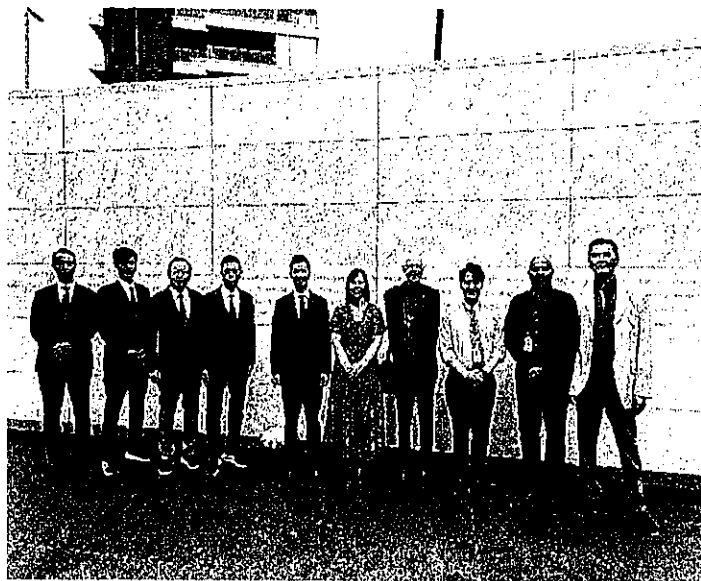
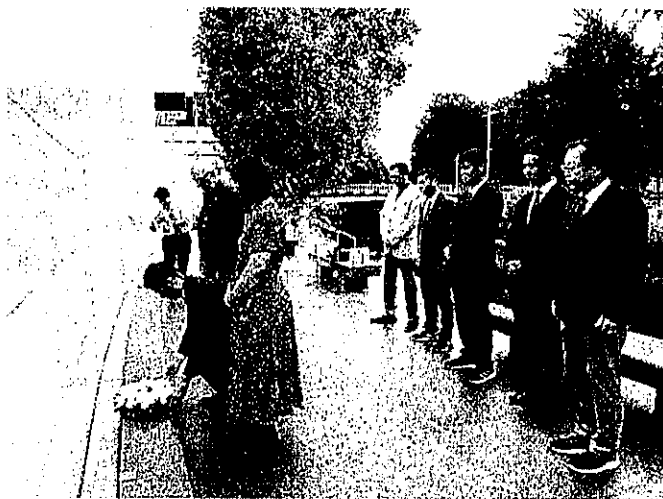


11月19日

午前 ・ The Canterbury Earthquake National Memorial (カンタベリー地震追悼国立メモリアル)

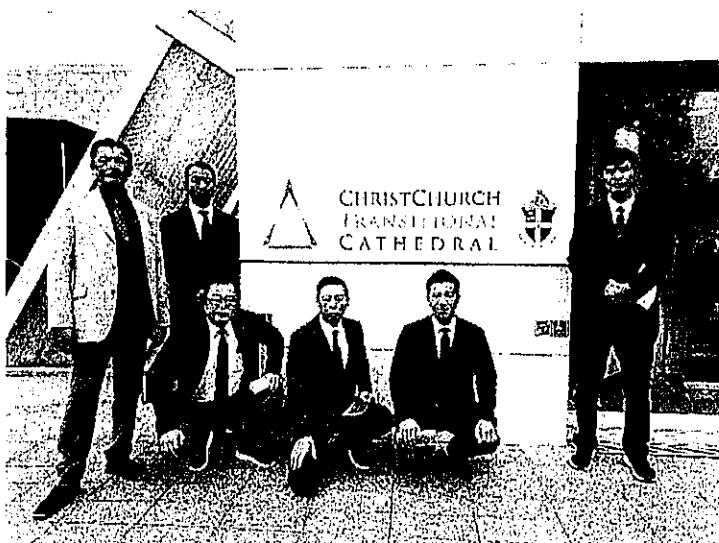
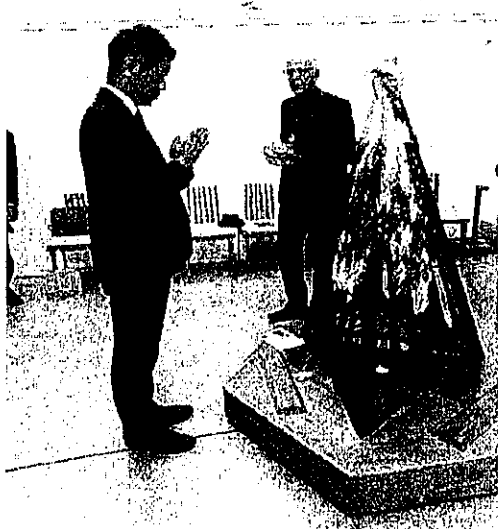
今回のニュージーランド視察・訪問において大きな目的の一つでもあるニュージーランド・クライストチャーチ地震で、犠牲となられた富山外国語専門学校の生徒12名を含む富山県関係者13名への献花を行った。NZ地震は2011年2月22日

12時51分(現地時間)にニュージーランドのカンタベリー地方で発生したマグニチュード6.1の地震で、特に被害が大きかったのはCTVビル(カンタベリーテレビビル)の倒壊によるものであり、このビル倒壊は日本人留学生を含む多数の犠牲者を出した。またこの地震によって亡くなられたのは日本人28名を含む185名でCVTビル倒壊による犠牲者は115名であった。CVTビルは設計や建設の段階で深刻な欠陥(耐震基準を満たしていないなど)が指摘されており、地震時にエレベーターシャフトを中心として東西方向にねじれるような動きが発生し、瞬時に崩壊したと考えられており、地震発生直後はまるでミサイルを撃ち込まれたかのような状況だったとのことである。今回、瀬川部会長が献花すると同時に同行者全員、謹んで哀悼の意を捧げた。故安倍晋三氏も献花に訪れた同地は2017年にクライストチャーチの中心部を流れるエイヴォン川を挟んで完成した。川にそって建てられた壁には犠牲となった方たちの名前が刻まれ、慰霊壁となっている。



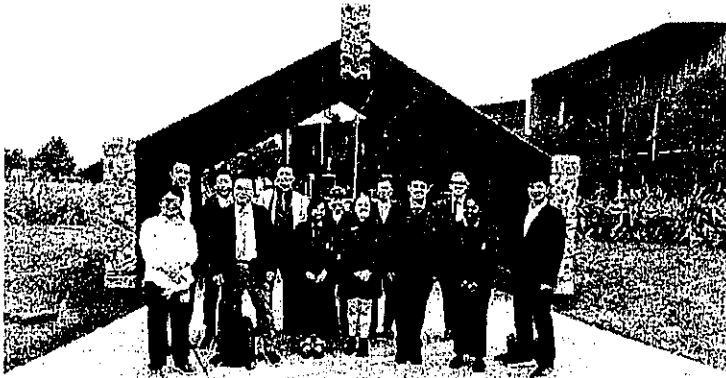
・ Christchurch Cathedral トランジショナル大聖堂

NZ地震によって半壊したニュージーランド・クライストチャーチにある大聖堂の代わりとなる仮設大聖堂は、世界各国の被災地で仮設住宅などを建設してきた日本人建築家、坂茂（ばんしげる）氏によって手掛けられた。この仮設大聖堂はクライストチャーチの新たな観光名所になり、世界中から多くの人を訪れている。大聖堂内にある記念彫刻はカヒカテアの木をベースに家族の支え合いをイメージされ同じモニュメントが富山の専門学校にもある。ここでは全員が折り鶴を供えた。



午後 ・ Haeata Community Campus

2017年にアラヌイ小学校、アボンデール小学校、ワイノニ学校、アラヌイ高校の4つの学校が統合し、現在の生徒数は約600人となっている。公立学校とは思えないほど学校設備が充実しており、ホスピタリティも高いのが特徴である。その中で生徒たちが将来に向けて多様な進路を選択できるよう、様々な特別プログラムを提供しており、すべてのプログラムはキャンパスが提供する最先端の施設を活用している。課題を与えて自分で考えることを優先し聞くのではなく考える力を養うスタイルで11年生からの3年間でクレジット（単位）を取得し、目的を持つ生徒は大学進学を希望している。特に高等分野とされるカウンセリングや心理療法を含む心理学が人気分野である。実際に話を聞いた生徒も複数人が将来サイコロジストを目指すかと答えていた。

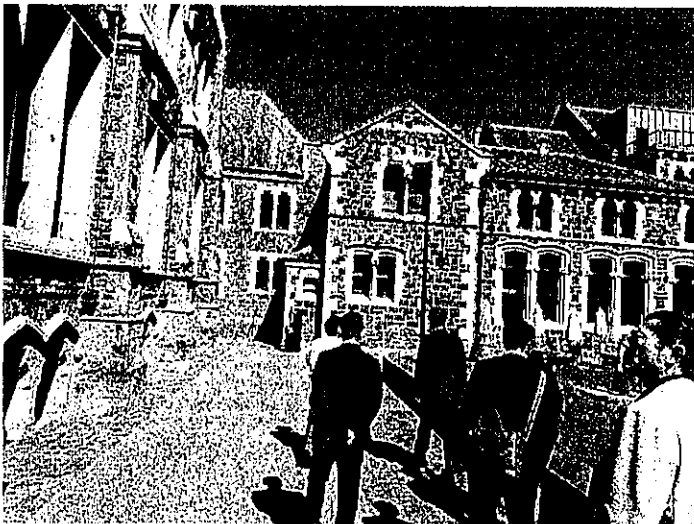


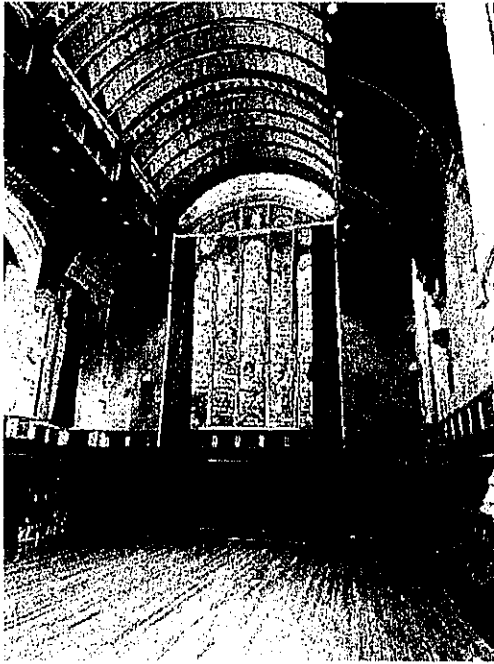


11月20日

午前 ・ The Arts Centre of Christchurch アートセンター

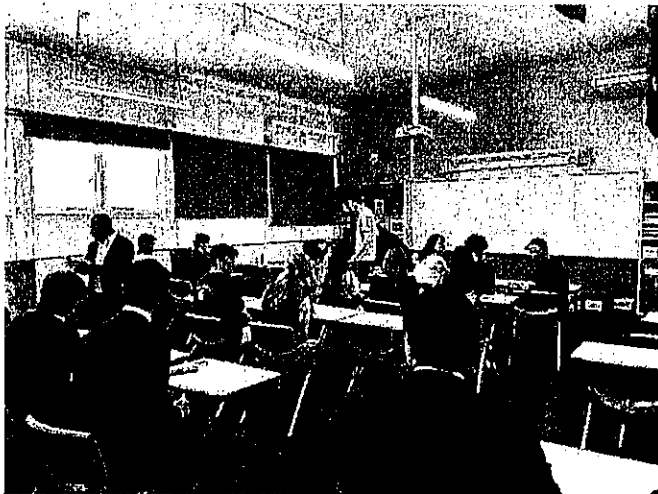
旧カンタベリー大学の校舎として知られるクライストチャーチ・アートセンターの敷地内には、アートギャラリーの他に映画館やレストラン、ホテルやアートスタジオなどがあり、地元の住民や観光客で常に賑わっている。ハイビクトリアン・ゴシック様式を建築に取り入れた校舎で、特に評価できるのは、151年の歴史をもつ国家遺産である建物を、歴史的建造物として保存するだけでなく、老若男女、年齢、国籍問わず誰もが利用できる空間として活用していることである。誰でも出入りが可能な中庭では、歴史的な建築物やアート作品を眺めることができ、建物の中にあるショップや大ホールなどを通して、人々は気軽にアートに触れることができる。実際、歴史的建造物をそれぞれの視点で楽しむ来館者の姿が印象的だった。





午後 ・ Cashmere High School

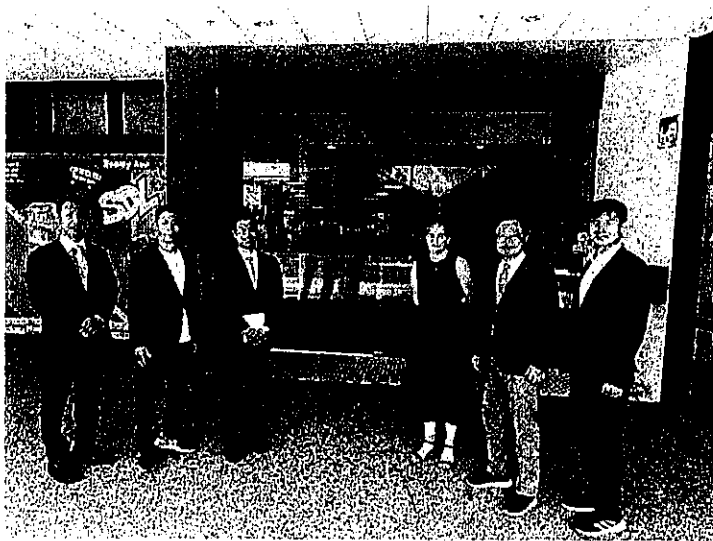
高級住宅街のある丘のふもとにある地元でも有名な高校。敷地は広大で校舎も綺麗であり、学業の面でも優秀な学校である。生徒数は約 2,400 人でインターナショナルの部署は歴史もあり、サポートもしっかりしていて留学生は約 100 人が在籍している。ニュージーランドらしくテーマを与えチームティーチングをベースとして教育方針だが2023の政権交代によるスキル教育から詰め込み教育への方針転換の影響を受けつつある。しかし教育への熱量は高く偏差値を上げて大学進学を目指している（大学進学率 70%）同時に、ノンアカデミックな科目も多くあり大学用就職用で単位が分かれているのもカシミヤ高校の特徴であり音楽・電気工事・木工・鉄工・被服・美術・観光等の科目で単位取得も可能となっている。また岡山県立倉敷南高校と姉妹校であり、短期語学留学を含め交流が盛んである。視察当日も日本語コースでは短期留学に向けた授業を行っており、お土産用の折り紙を生徒とともに制作した。



11月21日

午前 ・ Ao Tawhiti Unlimited Discovery

ニュージーランド唯一のオルタナティブスクールで慈善団体等からの寄附によって運営されている。授業はなく生徒が自分で取り組み内容を設定する自主性を重視したスケジュールとなっている。生徒数 670 名で教職員は 48 名体制となっていてローカル学校としての性質上、留学生は在籍していない。入学希望者は増えているが現在、生徒増には対応していない。家族の教育への参加を奨励しており、教師・生徒・親で計画を決定し、学年が違っても同じレベルの生徒が集まりカリキュラムを進めている。ここには勤勉な生徒とほとんど努力しない生徒が混在しており、成功するにはモチベーションと時間管理能力が求められる。生徒は普通の学校には行かない、合わない事情を抱えており独自の教育アプローチによって単に学力ではなくそれぞれのウェルビーイングを追求している点がユニークであり特徴的だと感じた。



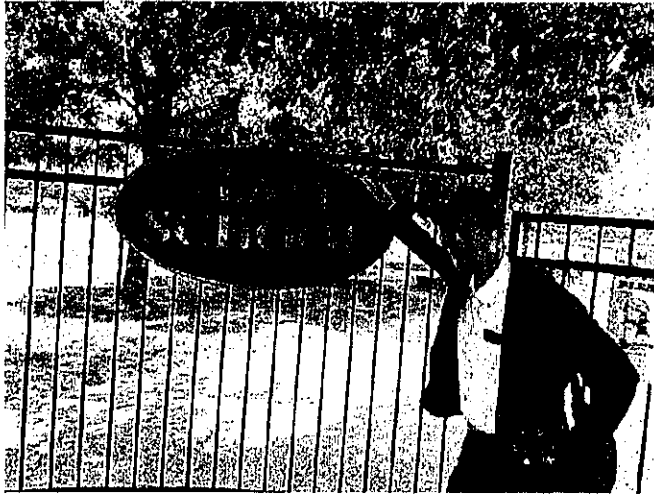
午後 ・カンタベリー日本語補修学校

補修学校は海外在住の日本人の子ども向けに日本の学習内容を補完する施設で世界に約 250 校ある。クライストチャーチでは平日は現地の学校へ通い土曜日の午後に同校で学ぶスタイルとなっており、200 名以上の子ども達が日本語環境で学んでいる。そんな中、同校では保護者会が活発で入学式等の学校行事も行われている。施設利用については Ilam School が教室等の他、備品も含め全面的に協力してくれている。また、常に日本を身近に感じられるよう、四季折々の日本の文化や伝統行事について、学校行事や保護者委員会活動、日本人会との交流をおこなっている。



・ Ilam School

アイラム・スクールは、アイラム地区にある公立小学校です。1～6 学年（5 歳から 11 歳）の約 400 名の子ども達が学んでいる。ニュージーランド国立カンタベリー大学に隣接しているため、同大学と提携を結んでおり教授や学生たちが個人プログラムや授業に貢献している。学校の方針には「達成を喜び、多様性を喜ぶ」とあり実際、多様性に富むマルチカルチャーな校風で世界 70 カ国から集まる子ども達がそれぞれの文化を大切にするイベントを開催している。経験豊富な教師陣が最新教授法を利用し、バランスのとれたカリキュラムを提供している。国際色豊かな学校らしく子ども達には様々なバックボーンがあり、子ども同士の衝突には事の大小に関わらず速やかに解決を目指すという先生の話には説得力があった。



■R07. 11. 17(月) 移動

■R07. 11. 18(火)

(1) カンタベリー博物館

地域の特性や、その国の歴史を伝えるという観点で、博物館は自治体及び国にとって必要な施設であり、来訪者は素早くそれらを学び取ることができる有効な施設。

クライストチャーチは南極調査の起点となる地域で、博物館内に展示されていた各国の基地の数に驚いたが、その場所からどのようなルートで南極にアプローチしているかも知ることができた。また、南極の風速や気温を感じる部屋や、富山県警山岳警備隊の車両と同様のいわゆる雪上車に乗れるなど、体感型の施設となっており、富山県をはじめとする自治体の博物館を整備する上で参考となった。

■R07. 11. 19(水)

(1) カンタベリー地震追悼国立メモリアルでの献花

2011年2月22日にニュージーランドのクライストチャーチで発生したカンタベリー地震。川沿いに犠牲者185名の氏名が刻まれたメモリアルを訪問。

現地の方々のお話を伺ったところ、185名の犠牲者のうち、115人がカンタベリービルの倒壊によって亡くなられたこと。現地ニュージーランドの方々に次ぐ28人の富山県内の方々を含む日本人が亡くなられたことを知った。また、ビルの周囲の建物は何とも無かったが、ビルだけが爆撃を受けたように崩壊していたとの話があった。ビルの建築許可を出した市の市長による謝罪が実現したこともあり、人災だったと再認識した。カンタベリー地震の当時は、間もなくして東日本大震災が発生したので、そこまで深い知識・認識は無かったが、行政の許認可が与える社会的影響についてその責任の重さを痛感した。

また、ニュージーランド、クライストチャーチはキリスト文化であり、日本人が謝罪や賠償金を求めることに国内で批判的な見方があったこと、それは、キリスト文化では、亡くなった方はそれまでの運命であったと受け入れる、また賠償という考え方が無い、といった考え方から来ているということを学んだ。その国の市において、地震発生時ではない市長が日本の文化を理解し、謝罪したということの意味を考えて欲しいとの話に、多文化共生に大切な考え方や、様々な角度から物事を見る、考える重要性を改めて学んだ。

(2) トランジショナル・キャンドラル (仮設大聖堂)

地震で被害を受けた大聖堂の方針決定、再整備が迷走して遅れているということ、そして、祈れる、手を合わせられる場所が欲しいということで仮設大聖堂が

整備されたことであつた。その建物が、日本人によって手掛けられたということに、地震大国であり、技術立国日本の凄さを再認識した。

(3) Haeta Community Campus

マオリ族の挨拶で歓迎を受け、土地の文化を大切にしている学校であるし、ニュージーランド政府は、その傾向を強めているということも今回の訪問で伺った。

生徒の自己表現を重視する教育が展開されており、教室には間仕切りが無く、教室の画一的な教育を展開する日本との違いを認識した。また、施設が充実しており、教育に予算が手厚くかけられているということを目の当たりにした。

■R07. 11. 20(木)

(1) 市内視察（クライストチャーチを開拓した 4 隻の船、乗組員を称える植樹、路面電車乗車、アートセンター）

現地にて 20 年以上住むガイドさんからは、自分たちの理想とする国の建設を掲げ、オックスフォード大学クライストチャーチ校の出身者が、25 隻 3,550 人で同市に向かった。その結果、4 隻・157 名の方々がたどり着き、何もなかったところからまちを造った（確かこう伺った）。

これが、女性初の参政権がニュージーランドで認められたことや、LGBTQ への取り組み・理解が先進的であることは、開拓者たちが、自国の慣習や階級、歴史にとらわれずにまちを造ろうとの精神に表れているということ。

また、日本で最初の鉄道はイギリスから技術を学び導入したとされているが、ニュージーランドの技術者はもともとイギリス人であり、彼らが日本に伝えたということ、実際にそのガイドが確認し、日本とニュージーとの繋がりを知って貰えればとの話しを当ガイドさんされたのが印象的だった。

その国の歴史を、文化を、国民性を知ることの大切さを学んだ。その国や国民がなぜそのような主張や考え方をするのかということを知るには、やはり歴史。「賢者は歴史に学び、愚か者は経験に学ぶ」というが、歴史を知ることはいかに何かに取り組もうとする我々に重要な示唆を与えてくれると改めて確認した。

アートセンターについても、旧カンタベリー大学の校舎であり、建築様式はもとより、教育・人をつくることに、相当の労力と費用を惜しまずかけていたということがうかがい知れるという点で、重要かつ貴重な建物であるとも伺ったところである。

200 名に満たないイギリスからの高学歴なメンバーが、国を存続させ、発展させていくには人を育てなければならない。ということ。船 4 隻で最終的に来たので何も無かった。無から有を生み出せる人そのものを育成することが大切という考え方が、教育として先進国とされる土壤にあるということ。これを歴史及び建物から学び取ることができた。

(2) Cashmere High School

家庭的に裕福な、高級住宅街のふもとに位置する高校ということで、同行の先生から様々なことを学ばせていただいた。

日本から 30 人ぐらいが留学に来ていると伺った。日本人留学生は帰国子女が 2 年以上海外にいた場合であり、それを目指していることや、中国や韓国は保護者ビザを取って国籍の取得を狙っているなど様々とのこと。

ニュージーランドは個人、プロジェクトベース、グループで行い、知識教育ではなくて、どうやってレポートをまとめる、パワポを使う、データを読み取る、スキルを学んだという教育が展開され、特に小学校はそうだとということ。

ところが、政権が変わり、先住民であるマオリの社会的地位をあげようということが教育にも入って来たとのこと。

カシミヤ高校では、いわゆるスキル教育を行き過ぎた形にしておらず、教室の壁を取り払えとか、チームティーチングをしろ、といったプレッシャーはあったが、当時の校長は力のある好調で、声明を出した。グループを作ってチームティーチングは何の効果も無いと証明した。とのことであった。実際に教室には仕切りがあり、日本のような授業が展開されていた。

政権が変わったとの話があったが、スキルだけでなく、知識を入れる教育、つまり日本の教育を取り入れようとの動きがあると伺った。

もともと同校では、先生の話しや教室の見学でも分かったが、スキル教育と知識教育をどちらかではなくて両方必要として実践している。日本の教育が単に駄目ではないということを知ることが出来たし、さりとして、それが全てであり完璧でもないということを知れた。

■ R07. 11. 21(金)

(1) Ao Tawhiti Unlimited Discovery

いわゆるオルタナティブスクールが、ロータリーの寄付金、政府からの補助金で成立しており、生徒たちからはお金はもらっていないということに驚いた。

1 年生から 13 年生まで、自分でカリキュラムを決めて取り組むスタイルで、教員に伺ったところでは、幼い時は 18 人に対して 1 人の教師、中学生ぐらいになると 30 人に対して 1 人、その上は 20 人に対して 1 人の教師が児童生徒の立てたカリキュラムの進行管理をしているとのこと、規模感を知ることができた。

生徒は高校ぐらいから入って来る子が多いとのこと、確かに幼少期は自分で自律的に学ぶということは難しいだろうということ、一定の甲斐性がついた中で、自分で学ぶスタイルを選ぶ需要が一定数あるということだと理解できる。

生徒への評価や成績は、全国共通のテストを採用しており、最終的には 1/3 は大学、1/3 は働く、1/3 は専門学校に行くということで、自主的に学んでも 1/3 が大学に進学しているという点では、同校の自主性や自分らしさを重んじる運営の成果が出ていると感じたところであり、日本でもフリースクール等が県内各市町

村で運営されるなどしているが、その存在をしっかりと県民に周知し、運営を支援していくことが求められると感じた。

(2) カンタベリー日本語補習学校

在外教育施設＝文部科学省が認定しており、

- ①日本語学校 94 全日制、日本と同等、駐在の子
- ②補習授業校 242 週末、放課後、一部強化（国語算数社会の3科目）
- ③私立在外教育施設 6 全日制、日本の学校法人

補習授業校のうち、文科省からの校長は県は 42 校のみで、本校は駐在企業が主導の設置ではない点がユニークとのこと。

こうした国の制度を初めてうかがい知ることができた。

また、ニュージーランドには（補習校）が 4 校あり、250 人が通っていることや、世界中には 2 万 6 千人ぐらい学ぶべき子がいるが、実際に通えているのは少ないということであった。

今回訪問したのは、Ilam School を借りていて、その間は良いが突然現地の法律が変わっていらなくなかったという例も他にはあるとのこと、不安定な中で現地にいる日本人に日本の良さ、伝統や文化や歴史を伝えていることを知り、行政として取り組むべき必要性を感じた。

つまり、日本の良さ、現地の良さ、両方を、様々なことを学ぶことで子どもたちの成長に繋がるし、それが日本を世界にアピールし、日本を大切にすることが活躍した時に日本のためになるということであり、引き続きの政府の取り組みを期待したい。

(3) Ilam School

5～11 歳までの約 400 人、現在 70 か国の国籍の子どもたちが、互いに尊重し合い、創造的な学びを得ているということであった。

これだけ多様性のある学校をどうやって運営していくかということだが、適切な人材を確保するということが、手続きをまずは書いて説明するということが、この他、情報の共有をしておくこと、保護者との間で、クリアコミュニケーションを取ること。これは、受け取り方が違うことがあるので、相手のバックグラウンドが違う場合もあるので丁寧に行うということであった。また、何か起きた時には速やかに対応する、その日のうちに対応するということが、あるいは、常に自分を見えるところ、露出を多くしてみんな子どもの名前を覚える。保護者もそうだが、みんなが教師を知っている状態を作ることが大切などなど。

県内各市町村にも様々な国籍の児童生徒が存在するところであり、本県の教育にも参考にできると感じた。

■ 総評

文教公安部会として、現在、第3期富山県教育大綱や新時代とやまハイスクール構想など、教育指針の策定・改定が進められている中で、教育先進国とされるニュージーランドを学んで分かったことで、以下に詳しく述べるが、端的に言えば、「光と闇がある」ということ。また、どちらかだけでないということがわかった。

今回の視察で得た学びを踏まえた本県の教育の方針、方向性については令和7年11月議会質問でも取り上げたが、ニュージーランドは、2017年にイギリスの「エコノミスト」誌の調査で未来教育指数世界1位を獲得した教育先進国とされており、それが今回の訪問先の主要な選定理由となったものである。そして、今回の現地での学びを踏まえて日本との対比で申し上げれば、日本は児童生徒が受け身の教育で、集団行動、そして知識を習得する教育である。それに対し、ニュージーランドは分からない場合に児童らが教師に聞くなどの能動的な学習で、個人の興味に基づく挑戦、そして自ら動いて解決することで発想力等を育む教育である。端的には、ニュージーランドでは自主性や創造性を育む教育が行われてきた。

しかし、現地に20年以上住む日本人ガイドによれば、自己責任の国であり、自発性が無い子どもは取り残され、また、若者の自殺率は高いと伺った。

本件について帰国後に調べたところ、ユニセフが2021年2月に刊行した、日本語版の「イノチェンティレポートカード16、子どもたちに影響する世界・先進国の子どもの幸福度を形作るものは何か」によれば、同国の子どもの幸福度の精神的幸福度は調査対象38か国中最下位となっている。また、15歳から19歳の若者10万人当たりの自殺率について、2013年から15年の3か年等の平均値で、同国は調査対象41か国中40位となっている。

なお、これらの背景には、先住民マオリの存在や、貧富の差の問題など、様々な要因があると存するが、大きな問題点として、本項冒頭に申し上げた通り、同国の教育に「光と影がある」ことを学んだ。

今回まとめた所感の中でも記述したが、このような中で、ニュージーランドにおける政権交代に伴い教育改革が推し進められており、日本のような基礎学力を伸ばす教育の強化等に取り組む方針となっているが、視察中に文教公安部会メンバーで議論もしたが、私としては、知恵や工夫、創造力や思考力は、知識を入れるだけでなく、自ら考え行動し、失敗から学ぶ実践的な経験を重ねることによって育まれるので、こちらも本項冒頭に述べた通り、日本かニュージーランドかの「二者択一」でなく、どちらも教育に必要な要素であり、ハイブリッド型の教育が適切であり必要とも考えた次第である。

他国の教育を学び、自国の教育の良い点悪い点、そしてどうすれば良いのかを深く考える機会となり、今回得た知見を今後の教育行政に活かしていきたい。

所感

針山 健史

自由民主党富山県議会議員会の文教公安部会の視察としてニュージーランドを訪問。富山県では現在、「新時代とやまハイスクール構想」が協議されており、予測困難な時代において令和 20 年度までに実現すべき県立高校の再構築を進めている。「学びたい、学んでよかった」「新時代に適応し、未来を拓く人材育成」がキャッチフレーズ、基本目標。目指す姿の検討に向けてなにを参考に、どこをモデルに？これまでも富山県教育の未来を考えるプロジェクトチームにおいて国内の様々な学校を視察し、教育カリキュラムや校舎等の施設整備などを参考にしてきた。

ニュージーランドは教育先進国、世界未来教育指数ランキングで第 1 位(2017 年)。ちなみに日本は第 7 位。初等教育から生徒の自主性を尊重して自己表現を重視する教育が行われており、中等教育ではディスカッション、プレゼンテーションなどを取り入れて表現力が更に磨かれる環境になっている。

8 年前に小学校から高校までを統合した学校、大学進学に力を入れている学校、オルタナティブスクールなどたくさんの教育現場を見ることができた。柔軟な教育制度や学校長をはじめとした教職員に一定の主導権を持たせた学校運営などがすごく特徴的に感じられた。

本県としても国の教育方針の下で当然に制約はあるものの、学びたいことを学びたいときに学べるシステムなど取り入れたら面白いのではないかと思える事例もあった。

また、今回の主な訪問地となったクライストチャーチを中心にニュージーランドの歴史や文化にも多く触れることができた。南極と深いかわりを持ち、氷点下の疑似体験や南極で利用されている水陸両用の特殊車両の試乗ができる博物館は非常に興味深かった。国家遺産となっている旧カンタベリー大学の校舎をクライストチャーチ・アートセンターとして誰でも出入りできる施設にし、多様な活用方法で来館者を集め、賑わいづくりに一役買っていたし、街中を走る路面電車はレトロな車両にこだわり生活の足というより観光客を惹きつける交通手段となっている。

クライストチャーチは 2011 年 2 月に発生したカンタベリー地震で被害の大きかった地域。185 名の犠牲者のうち富山県関係者も含む日本人 28 名が犠牲になった。視察の目的の一つでもあった慰霊も実現。2024 年の能登半島地震と同じように液状化も見られたようで復興の参考にもなった視察だった。

文教公安部会ニュージーランド（クライストチャーチ）視察所感

井上 学

今回の視察では、全く違う2通りの教育システムの学校を訪問した。

1. 自由度の高い学校

ニュージーランドで増えている、壁のない大部屋（オープンスペース）で複数の学年が一緒に学ぶスタイル。

・特徴：決まった時間割がなく、生徒が自分で「今は数学をやる」「今は読書をする」と決める自律性が重視される。

・メリット：個々のペースに合わせられるため、得意な子を伸ばしやすく、創造性が育まれやすい。

・日本式との対比：日本から見ると「放任」や「遊び」に見えることがあるが、これは「自分の行動に責任を持つ」という訓練でもある。ただし、自己管理ができない子は置いていかれるというリスクも孕んでいる。

2. 伝統的な学校（日本式に近い指導）

一方で、ニュージーランドにも伝統的なカトリック校やグラマースクールなど、先生が教壇に立ち、制服を正しく着て、規律を重んじる学校も根強く残っている。

特徴：体系的なカリキュラムに基づき、全員が同じペースで基礎を固める。

メリット：知識の「抜け漏れ」が少なく、一定水準の学力が保証されやすい。

また、集団行動を通じて社会性や礼儀が身につく。

日本式との共通点：「何が正解か、どう振る舞うべきか」という明確な指針が子供たちに与えられている安心感がある。

考察：

基礎学力の担保：自由すぎる教育は、家庭環境や本人のやる気に依存しがちだが、日本式は「全員を底上げする」仕組みが整っている。

情緒の安定：自由は裏を返せば「常に選択を迫られるストレス」でもある。決まった時間割やルールがあることで、子供は安心して学習に集中できるという側面がある。

まとめ：ニュージーランドの自由な教育は「個」を輝かせるが、日本式の教育は「社会の土台」を築く。特に義務教育段階においては、まずは日本式のように型（基礎・規律）をしっかり身につけ、その上でニュージーランド流の自由を取り入れるという順番が、バランスとして優れているのかもしれない。

11月17日

移動のみ。

11月18日

午後、目的地のクライストチャーチ市に到着。

国際南極センターへ。南極への出発地となっている同地で、南極探検の歴史、生物・植物の生態に与える影響、また地球に与える影響について広く学んだ。南極に関する博物館のような様相で、当日も国内外から老若男女が幅広く訪れていた。富山県は数少ない県立博物館の無い県であるが、博物館はその地域を訪れる際の有力な目的地になりえるため、富山県美術館の成功例を活かしながら、富山県もぜひ博物館建設を進めるべきだと実感。

11月19日

午前中は、カンタベリー市役所、カンタベリー市議会のアテンドで、カンタベリー地震追悼国立メモリアルで献花を行った。

(2011年2月に、ニュージーランド第2の都市クライストチャーチを中心に大きな被害のあったカンタベリー地震。犠牲者185人のうち、日本人は28人。語学研修中だった富山外国語専門学校の生徒12人を含む、富山県関係者13人も含まれる。地震から15年ということもあり、今回の訪問に伴い慰霊もした。)

午後は、Haeta Community Campusへ。小学校から高校生まで約600名が在籍する学校で、各クラス授業の科目は決まっているが、クラス内は一斉授業ではなく、各生徒が思い思いの部分を、個別に、そして主体的に学習。つまり、「今日やる単元はこれです。」ではなく、「今日はそれぞれ何するの?」と教員が呼びかける。生徒がそれぞれの学習を進めるのを教員はサポートするだけという、進め方であった。教科書も無い。それで授業が成り立つのか?と当初は疑問だったが、生徒からどんどん質問があり、それに教員が都度回答していた。

11月20日

午後に、Cashmere High Schoolへ。ニュージーランドは地域で通う高校が決まるが、裕福な地域ということもあり、落ち着いた大学進学を目指す優秀な生徒が多いとのことであった(大学進学率は70%)。生徒数は約2,400人で、そのうち留学生は約100人。日本からの留学生も多く在籍している。ニュージーランドでは学校毎に、ある意味独立した経営をしており、各学校で教員を採用し、給与も学校間で違う。一方で、いつでも解雇になる可能性もある。資金が集まりやすい高校ということもあり、教員の質には自信を持っていた。ニュージーランド教育の特徴でもある、アウトプットベース、プロジェクトベース、チームで行う、日本の「探究」のような授業が基本だが、大学進学率が高いこともあり、知識を身につける学習もそれなりにやるとのことであった。

瀬川 侑希

11月21日

午前に、Ao Tawhiti Unlimited Discovery へ。ニュージーランド唯一のオルタナティブスクールとのことだが、日本のオルタナティブスクールがニュージーランド教育のベースであり、この学校は更に突き抜けていた。遊ぶことも含めて何をして時間を過ごしてもよく、科目が行われているスペースが個別にあり、学年関係無く、学びたい生徒が自分のレベルに合う学びたい科目が行われるスペースに行っていた。既存の学校には合わない生徒が通っている場合が多いとのことであったが、既存の学校も十分主体的な学習が展開されているように感じたため、この学校との大きな違いと言えるのかどうか、十分理解できなかった部分もある。

午後は、Ilam School へ。約 400 人が学んでいる小学校。移住者が多い地域柄、約 70 の国のバックグラウンドを持つ生徒が集まり、それぞれのアイデンティティーをお互いに大切にしていた。ここでも、一斉授業ではなく、生徒主体の学習が行われていた。みんなバラバラに学習するのを、それぞれに合わせてサポートする先生は大変難しいとのことであったが、そのため優秀な教員を確保することが大切であるとのことであった。

11月22日

移動のみ。